

7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

-
- (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況
 - (2) 参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み
 - (3) 居住地域の治安状況
 - (4) 居住地域の治安が良いと感じる点
 - (5) 居住地域の治安が悪いと感じる点
 - (6) 駐輪時の鍵かけ状況
-

7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

（1）「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

問26 あなたは、足立区が取り組んでいる「ビューティフル・ウィンドウズ運動（※）」という取り組みを知っていますか（○は1つだけ）。

※「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは、「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。

■【知っている】が4割台半ば、「知らない（初めて聞いた）」が5割超

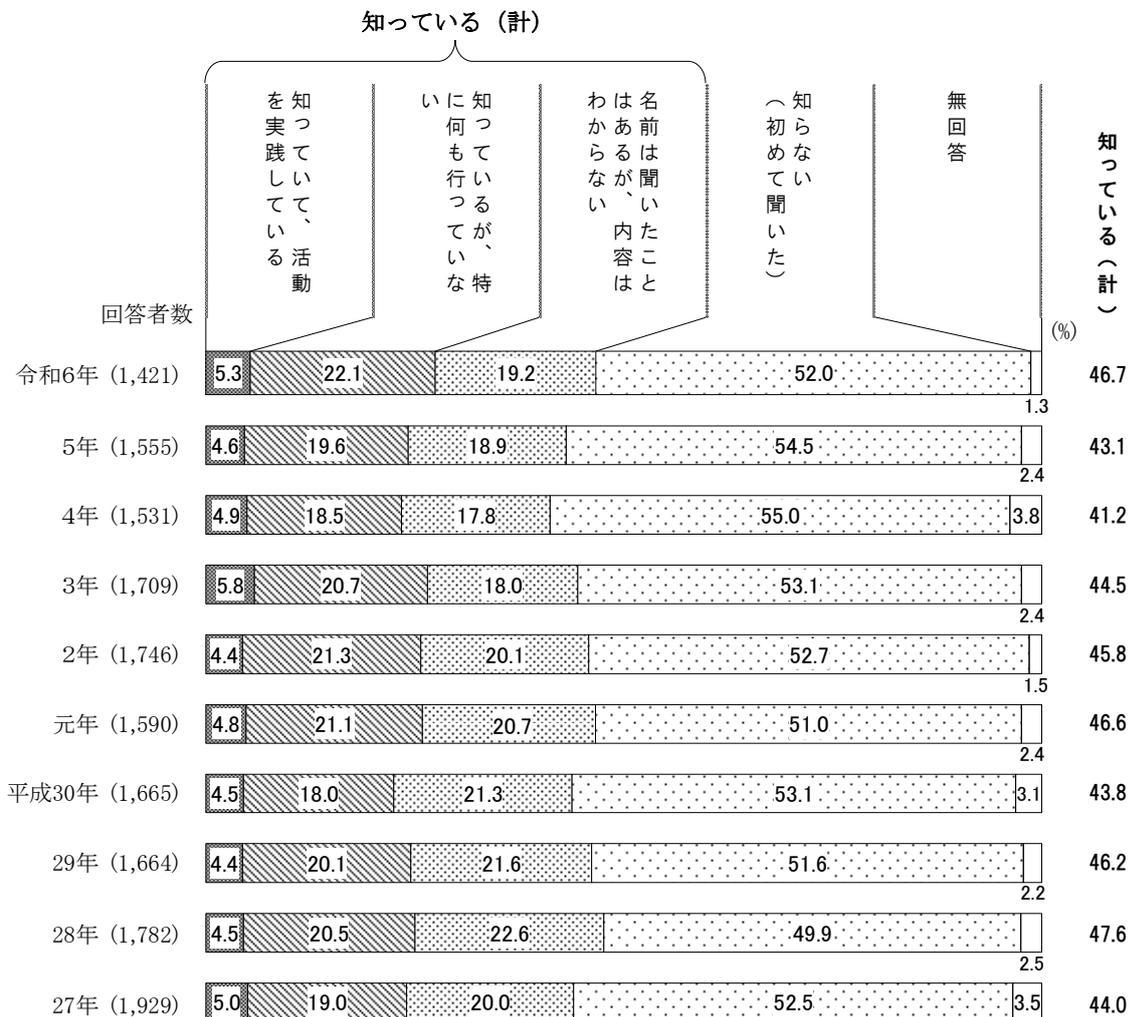
ア 単純集計・経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

（ア）「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っていて、活動を実践している」は5.3%で、これに「知っているが、特に何も行ってない」（22.1%）と「名前は聞いたことはあるが、内容はわからない」（19.2%）を合わせた【知っている】は46.7%となっている。

（イ）「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知らない（初めて聞いた）」は52.0%となっている。

（ウ）前回調査と比較すると、【知っている】は3.6ポイント増加している。

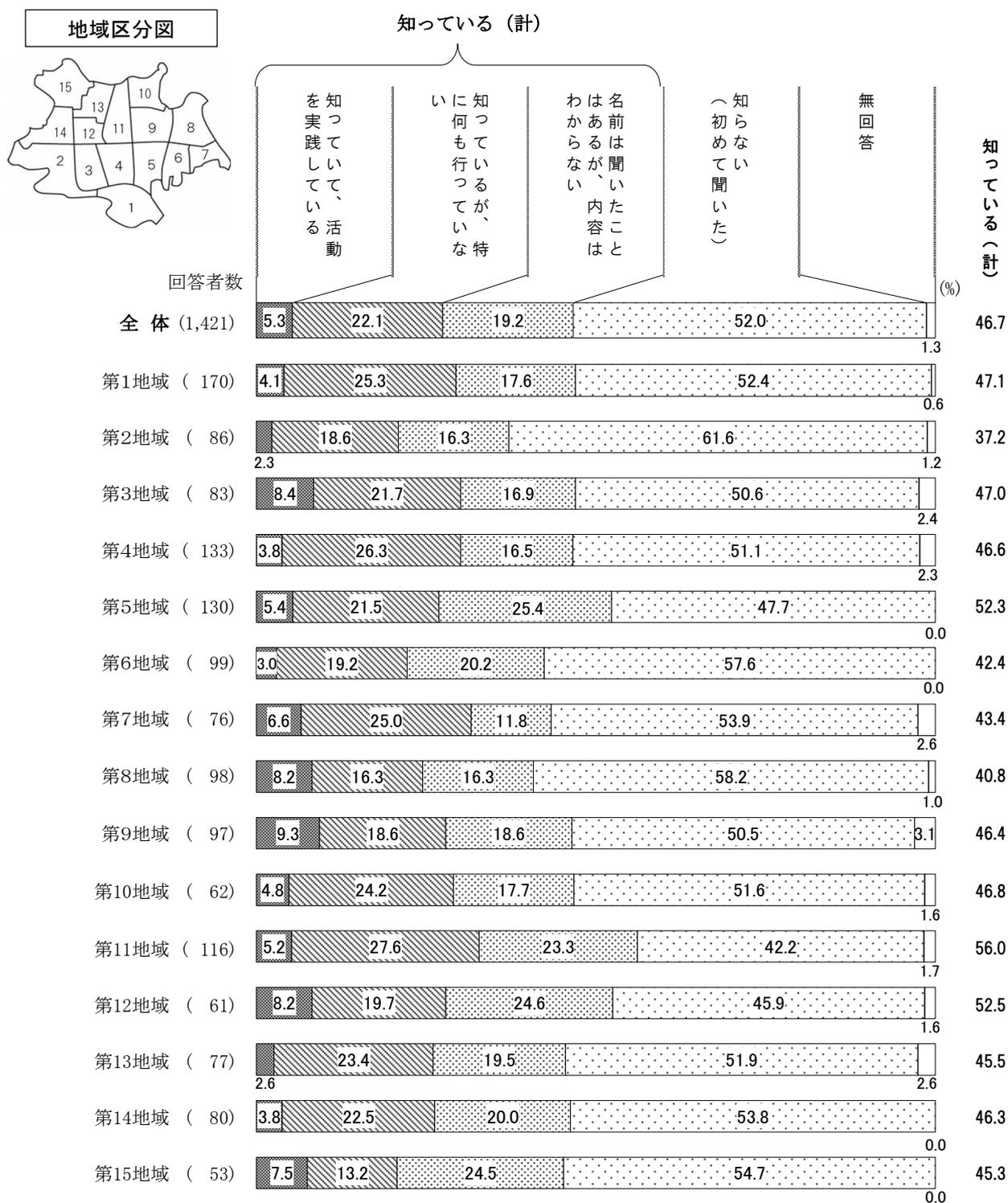
図7-1-1 経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



イ クロス集計・地域別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

地域別でみると、【知っている】は、第11地域で56.0%と最も高く、次いで、第12地域(52.5%)、第5地域(52.3%)などとなっている。一方、第2地域で37.2%と最も低くなっている。

図7-1-2 地域別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

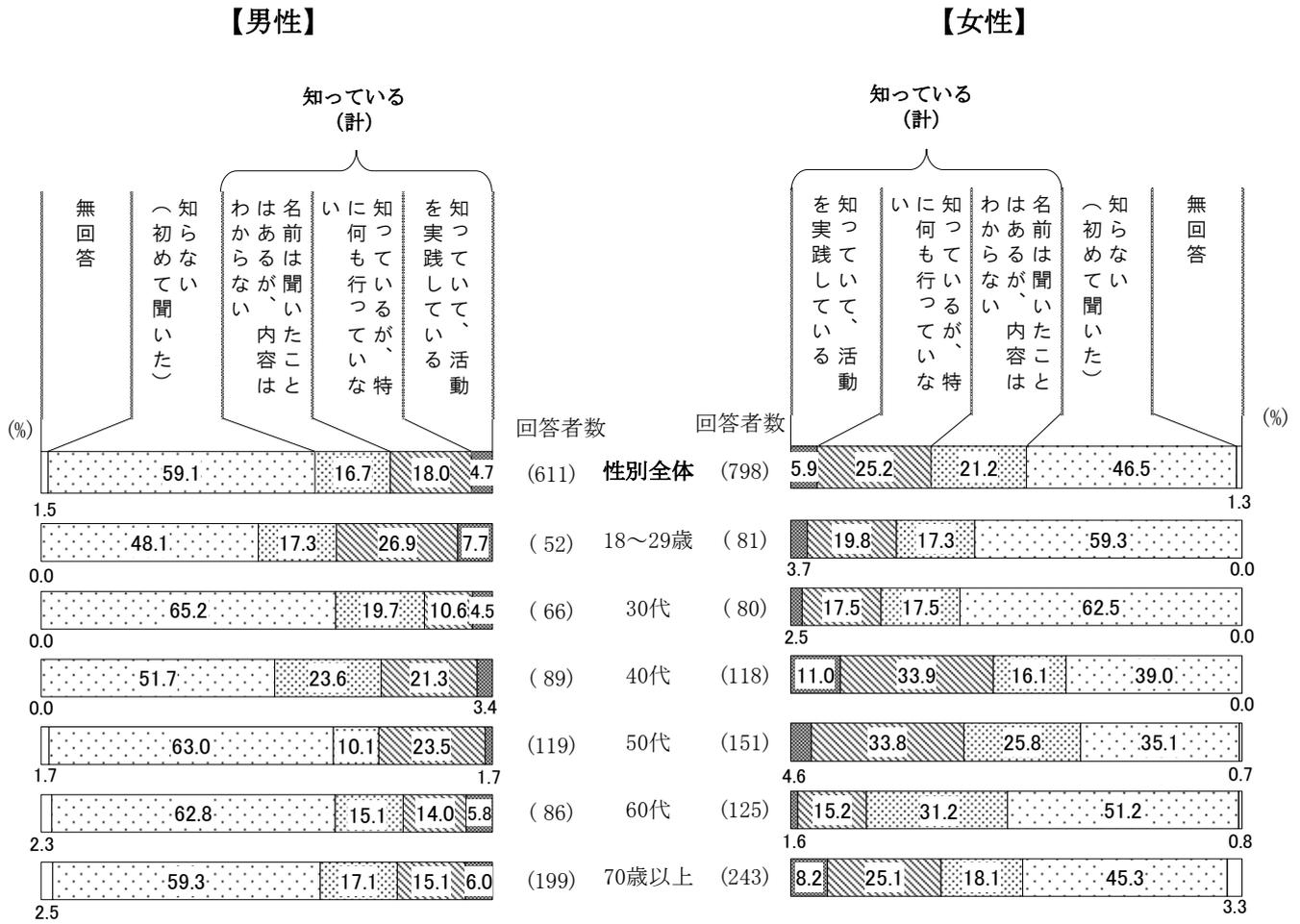


ウ クロス集計・性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

(ア) 性別でみると、【知っている】は女性（52.3%）の方が男性（39.4%）より12.9ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別でみると、【知っている】は女性の50代で64.2%と最も高く、次いで、女性の40代が61.0%で続いている。逆に、男性の30代が34.8%で最も低くなっている。

図7-1-3 性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



(2) 参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

問27 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関連する取り組みのうち、あなたが現在参加している、もしくは今後参加したいものは何ですか（〇はあてはまるものすべて）。

■「参加していない(今後も参加しない)」が約6割、取り組みでは「ながら見守り活動」が13.2%で最多

ア 単純集計・経年比較

／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

(ア) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関する取り組みのうち、現在参加している、もしくは今後参加したい取り組みを聞いたところ、上位は以下のとおりとなった。

- ①「ながら見守り活動」(13.2%)
- ②「まちの清掃活動」(11.5%)
- ③「花の育成活動」(10.2%)
- ④「不法投棄通報」(8.0%)

(イ) 取り組みに「参加していない(今後も参加しない)」は59.5%となっている。

(ウ) 前回調査との比較では、特に大きな違いは見られないものの、「参加していない今後も参加しない」が漸減傾向となっている。

図7-2-1-① 経年比較／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

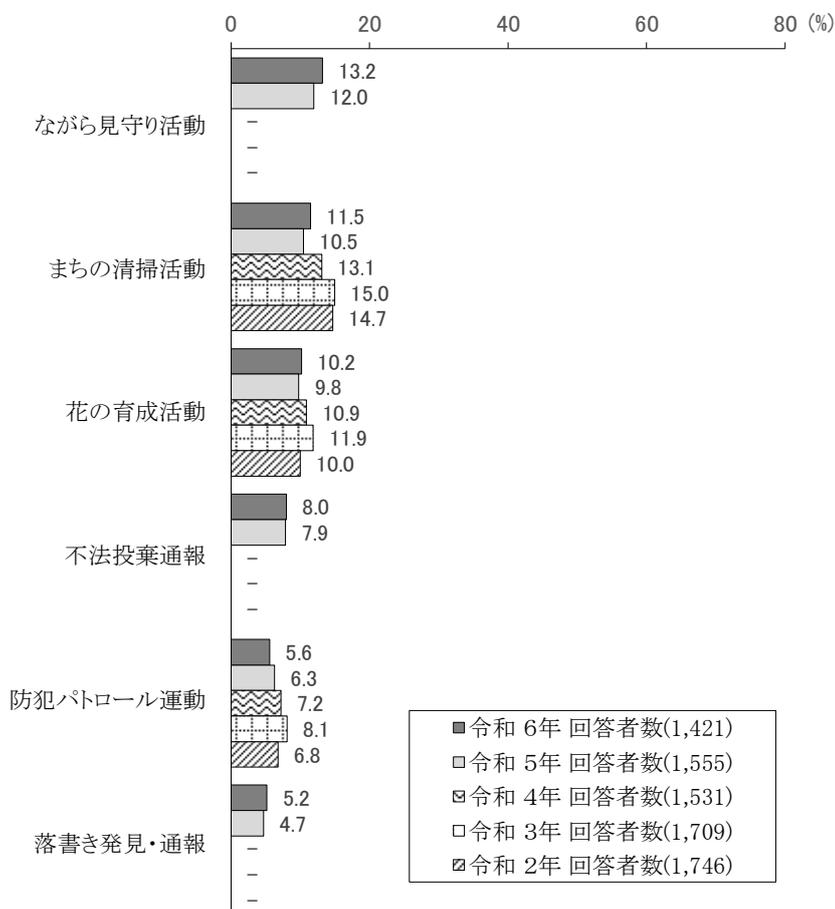
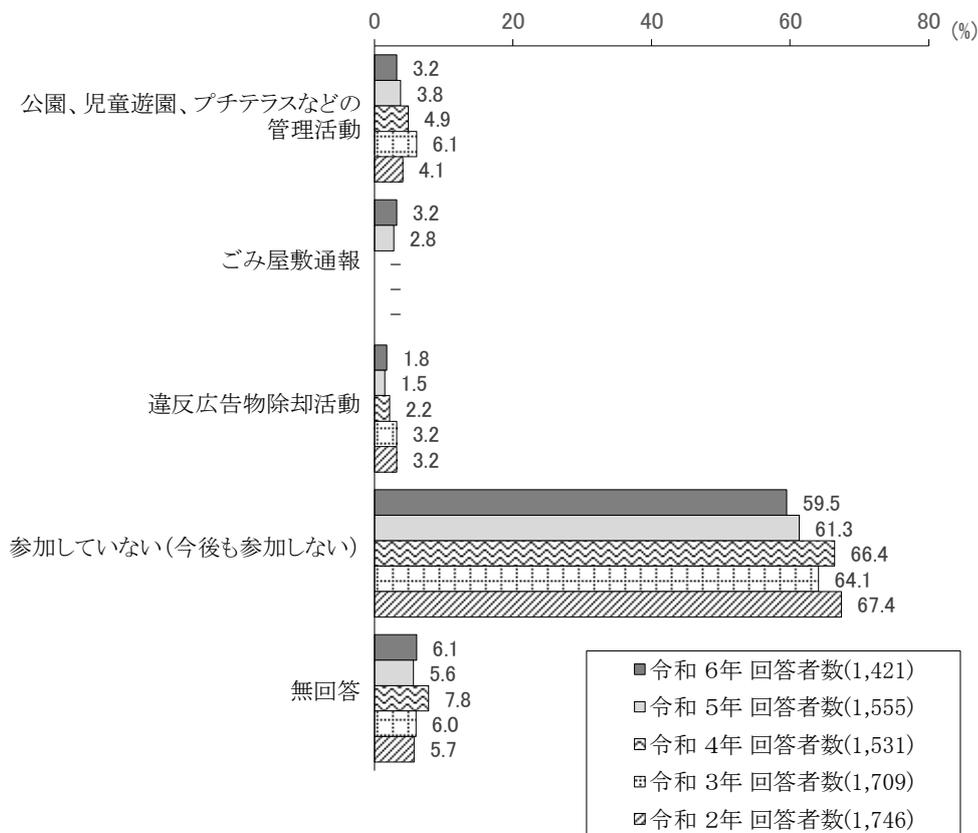


図7-2-1-② 経年比較／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



※「ながら見守り活動」・「ごみ屋敷通報」・「不法投棄通報」・「落書き発見・通報」は、令和5年度調査からの新設項目。

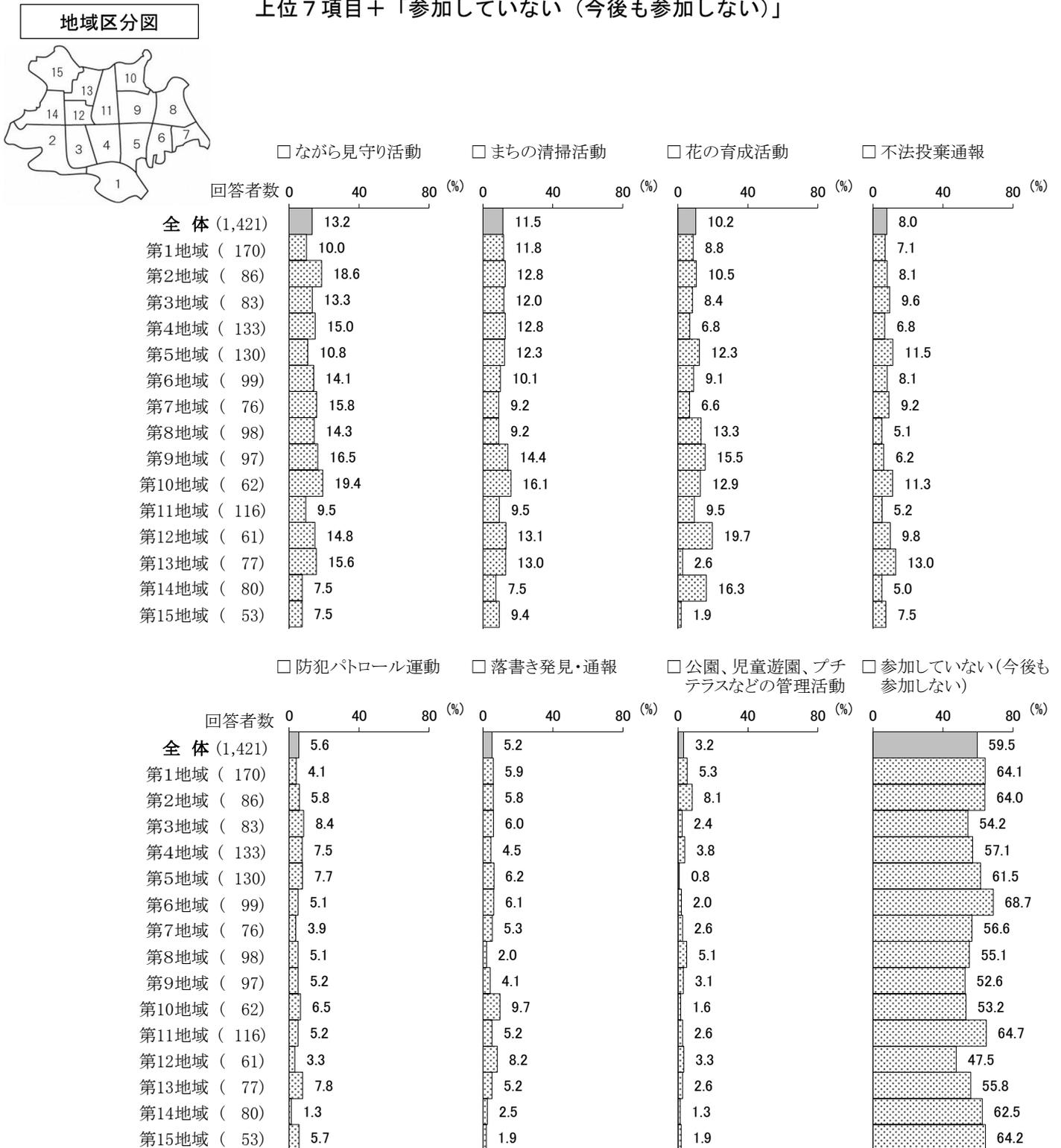
イ クロス集計・地域別

／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

- (ア) 地域別で見ると、「ながら見守り活動」は第10地域で19.4%と最も高く、「まちの清掃活動」も第10地域（16.1%）、「花の育成活動」は第12地域（19.7%）で最も高くなっている。
- (イ) 「参加していない（今後も参加しない）」は、第6地域で68.7%と最も高く、逆に、第12地域で47.5%と最も低くなっている。

図7-2-2 地域別／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み／
上位7項目＋「参加していない（今後も参加しない）」



ウ クロス集計・性別、性・年代別

／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

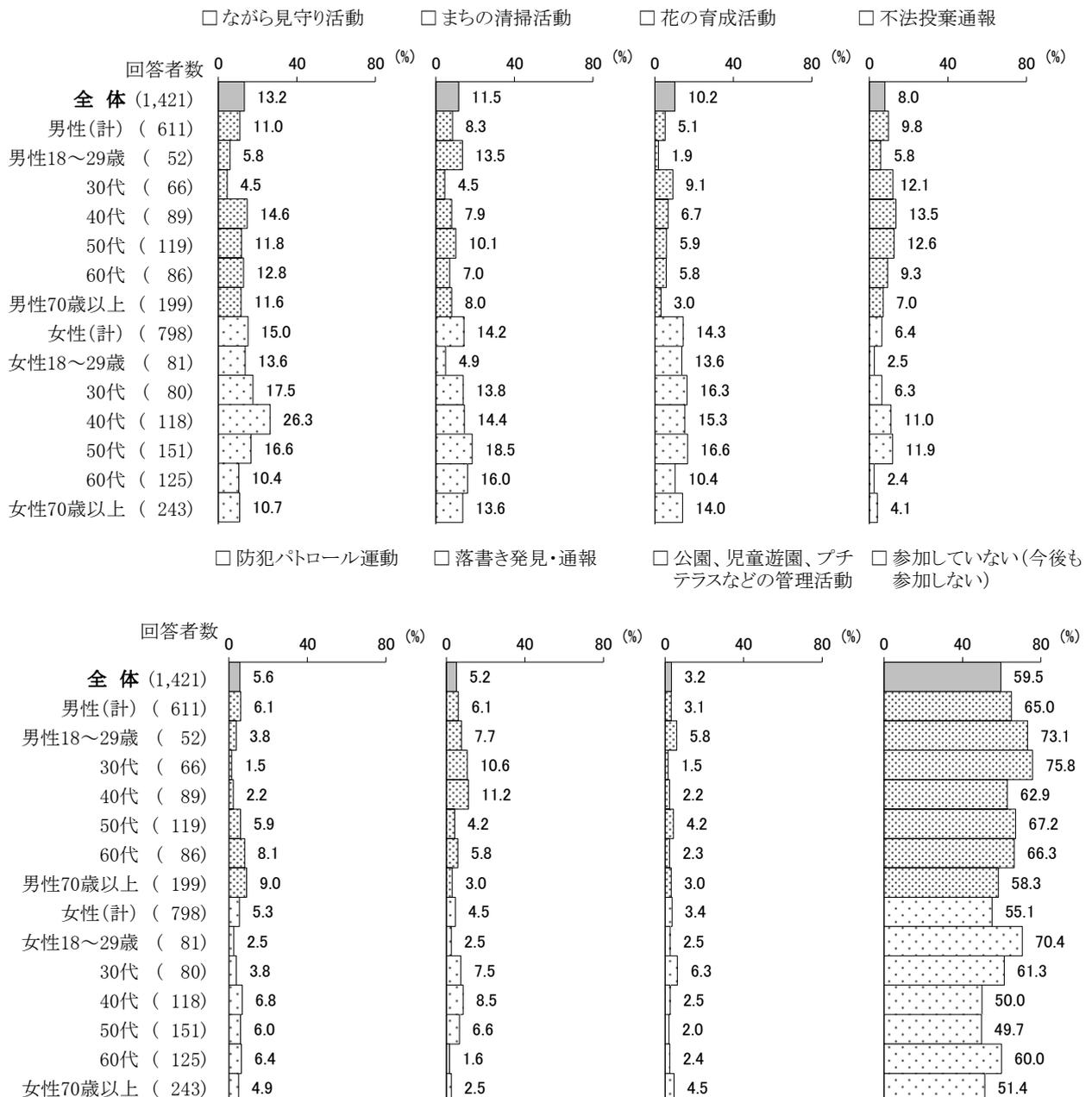
(ア) 性別でみると、「ながら見守り活動」、「まちの清掃活動」、「花の育成活動」の上位3項目はいずれも女性の方が男性より4ポイント以上高く、逆に「不法投棄通報」は男性(9.8%)の方が女性(6.4%)より3.4ポイント高くなっている。

(イ) 「参加していない(今後も参加しない)」を性別でみると、男性(65.0%)の方が女性(55.1%)より9.9ポイント高くなっている。

(ウ) 性・年代別でみると、「ながら見守り活動」は女性の40代で26.3%と最も高く、「まちの清掃活動」と「花の育成活動」はともに女性の50代(18.5%・16.6%)で最も高くなっている。一方、「参加していない(今後も参加しない)」は、男性の30代が75.8%で最も高く、逆に女性の50代が49.7%で最も低くなっている。

図7-2-3 性別、性・年代別／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み／
上位7項目+「参加していない(今後も参加しない)」

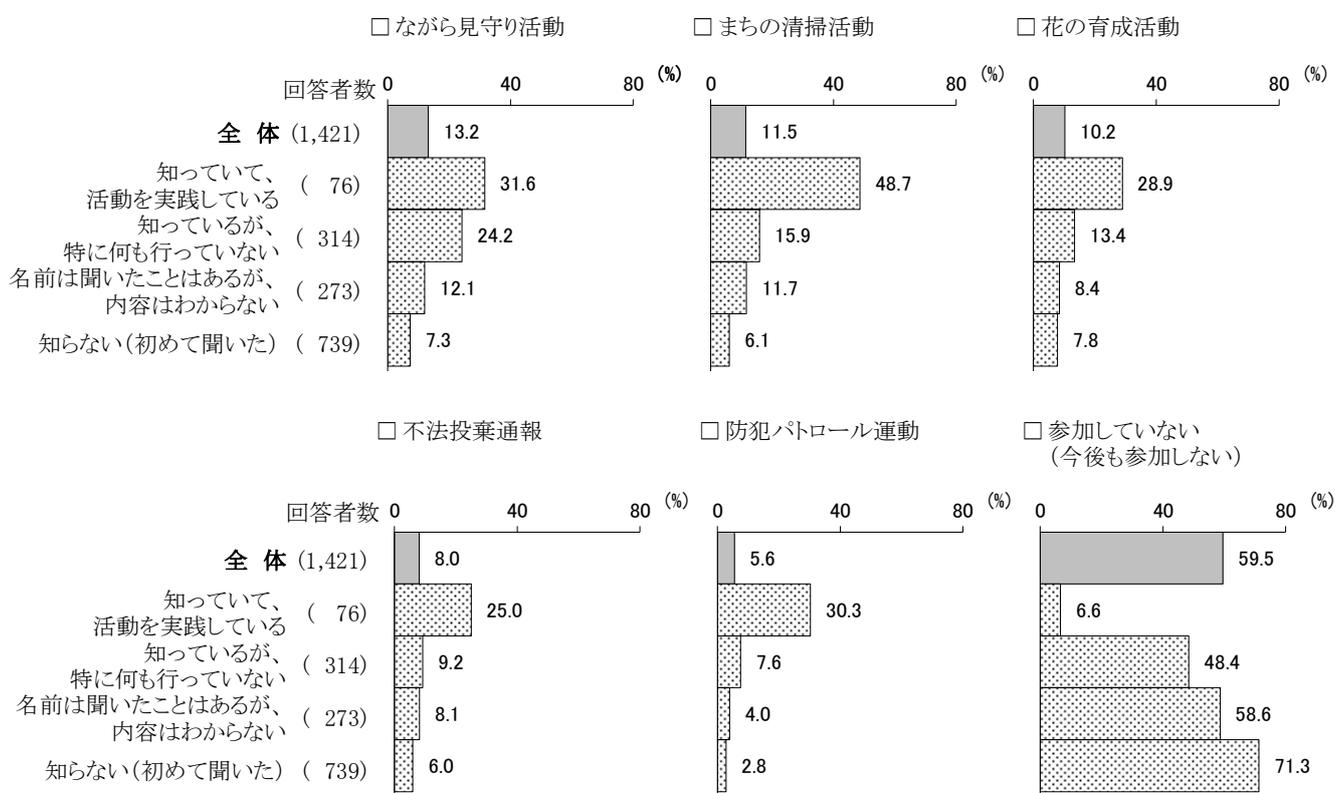


エ クロス集計・「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別

／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

(ア) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別にみると、認知・実践レベルが高くなるほど、それぞれの取り組みに対する参加率、参加意向が高くなっており、その傾向は〈知っていて、活動を実践している〉層でとくに顕著で、「まちの清掃活動」(48.7%)で37.2ポイント、「防犯パトロール運動」(30.3%)で24.7ポイント、「花の育成活動」(28.9%)で18.7ポイント、それぞれ全体に比べて高くなっている。

図7-2-4 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み／上位5項目+「参加していない(今後も参加しない)」



(3) 居住地域の治安状況

問28 あなたは、お住まいの地域の治安（※）について、どのように感じていますか
 （○は1つだけ）。
 ※ 犯罪が少なく、世の中の秩序が保たれている状態のことです。

■ 【良い】は前回から5.1ポイント増加し6割台半ば、【悪い】は再び減少し2割台前半

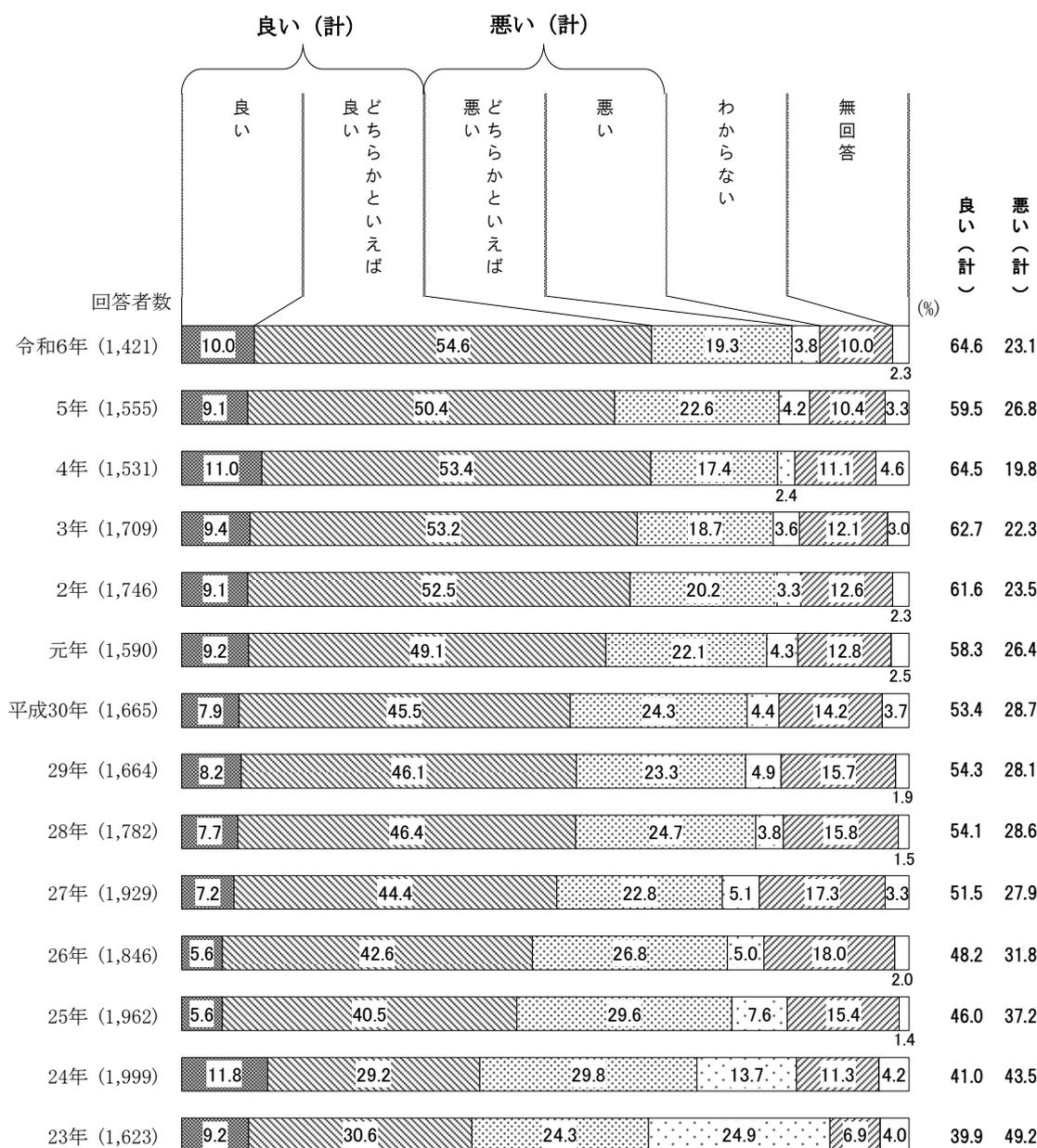
ア 単純集計・経年比較／居住地域の治安状況

(ア) 住んでいる地域の治安について、「良い」が10.0%で、これに「どちらかといえば良い」(54.6%)を合わせた【良い】は64.6%となっている。

(イ) 住んでいる地域の治安について、「どちらかといえば悪い」(19.3%)と「悪い」(3.8%)を合わせた【悪い】は23.1%となっている。

(ウ) 前回調査と比較すると、【良い】は5.1ポイント増加し、再び6割台となった。一方、【悪い】は3.7ポイント減少し2割台前半となった。

図7-3-1 経年比較／居住地域の治安状況



イ クロス集計・地域別／居住地域の治安状況

地域別でみると、【良い】は第1地域で74.1%と最も高く、次いで第6地域（73.7%）が続いている。一方、【悪い】は第13地域で33.8%と最も高く、次いで第12地域（29.5%）となっている。

図7-3-2 地域別／居住地域の治安状況

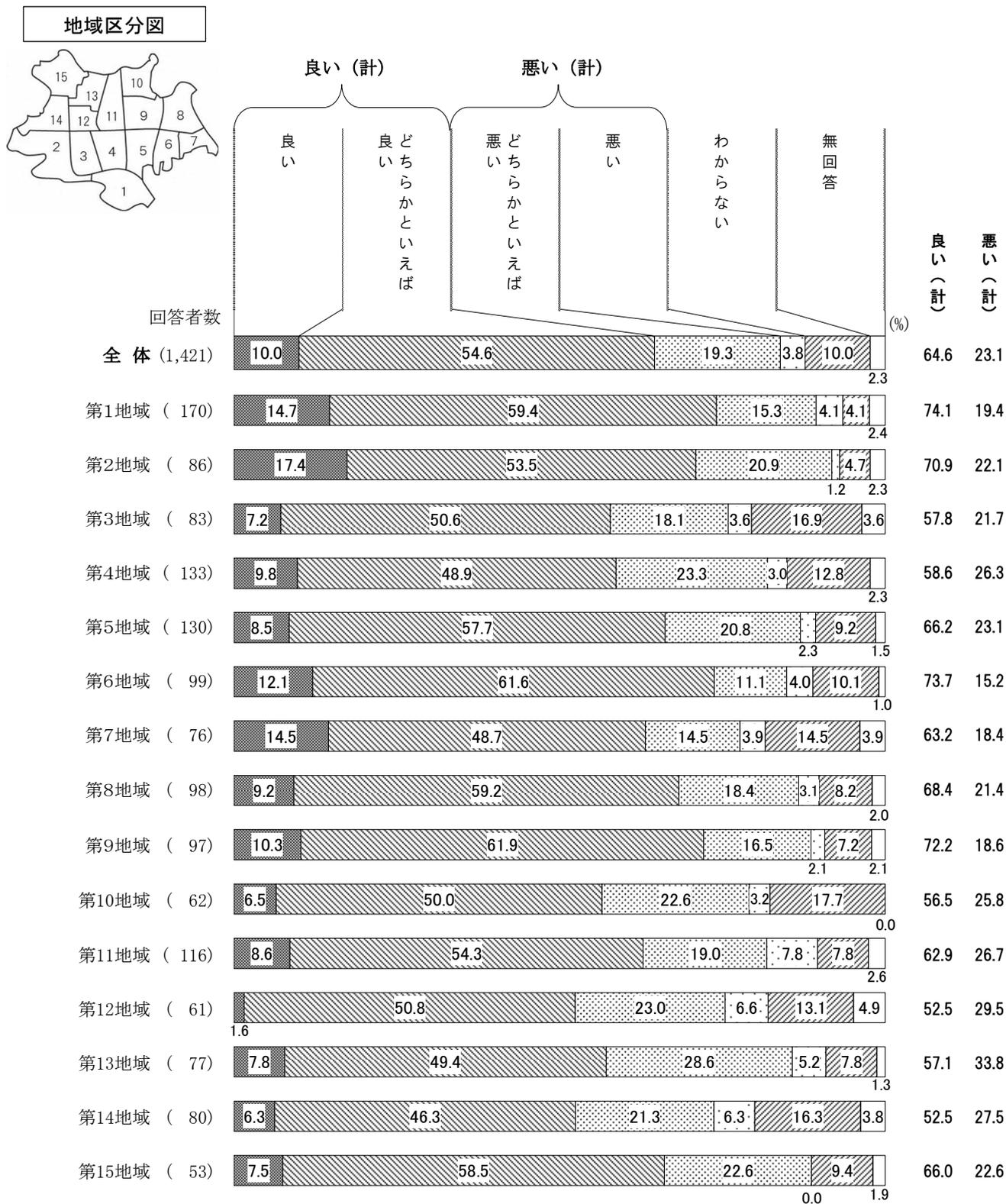
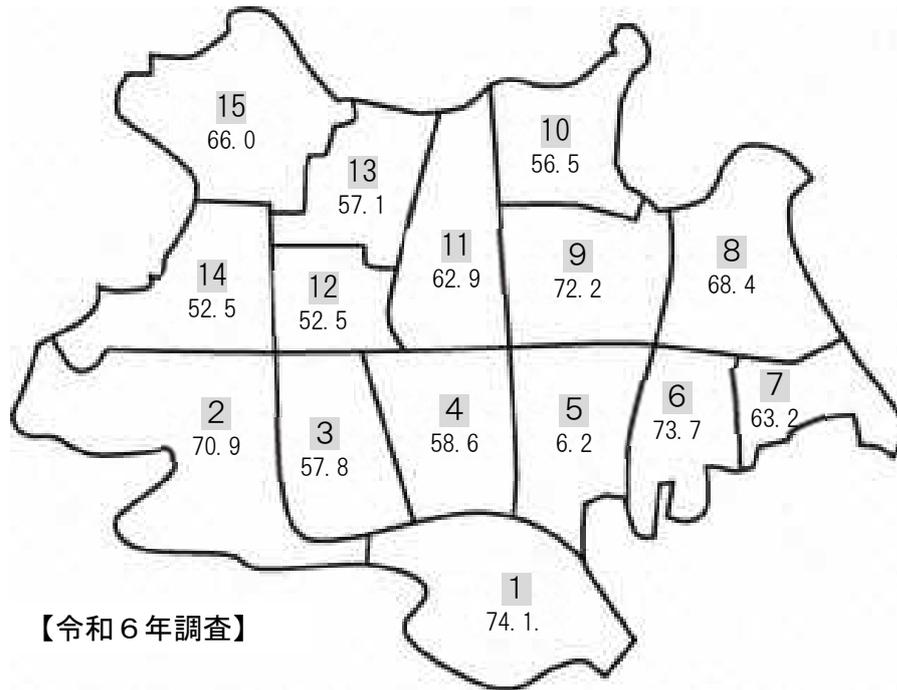
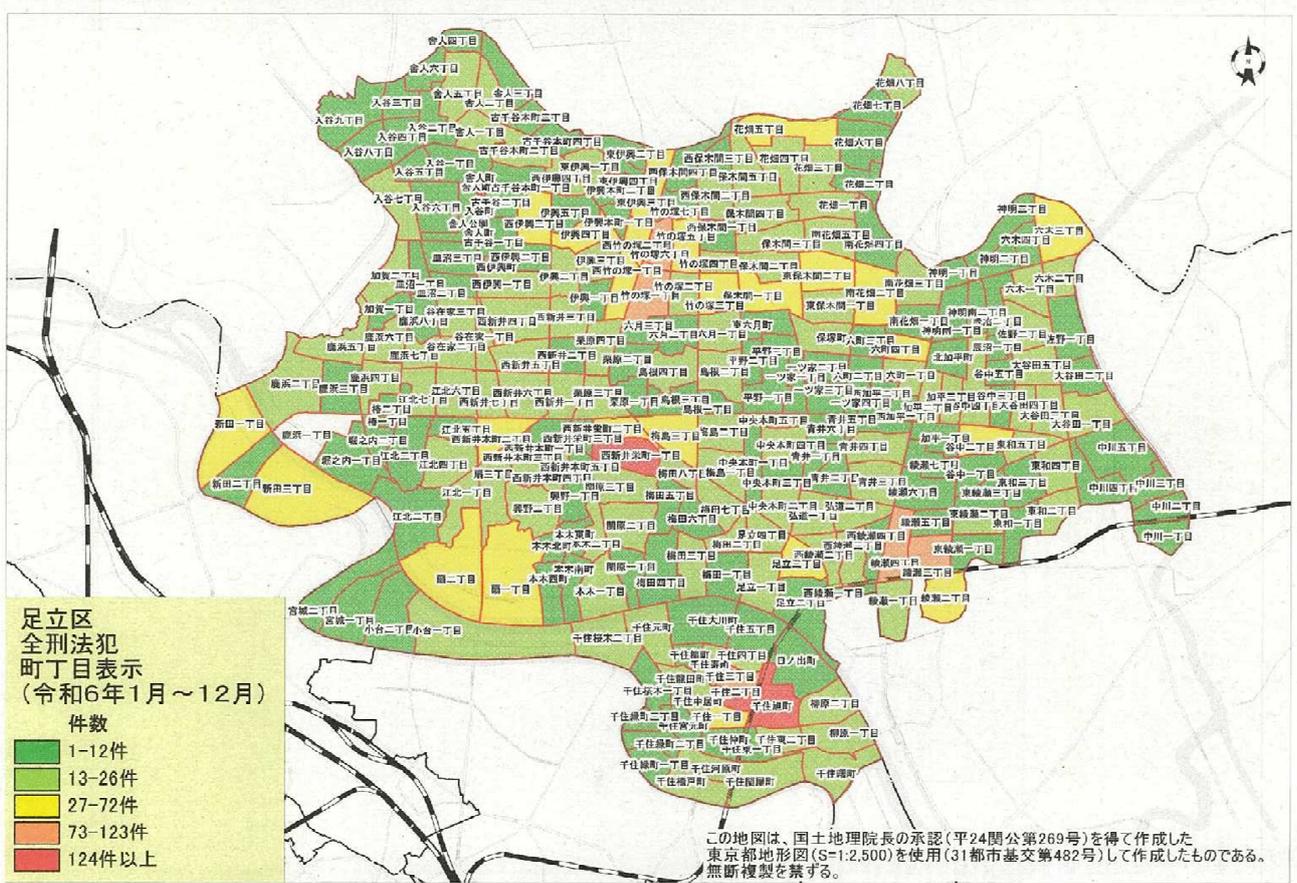


図7-3-3 地域区分図／居住地域の治安状況

(上段：地域番号、下段：治安が【良い】と答えた回答者の割合%)



【参考資料】区内全刑法犯認知件数（令和6年1月～12月）

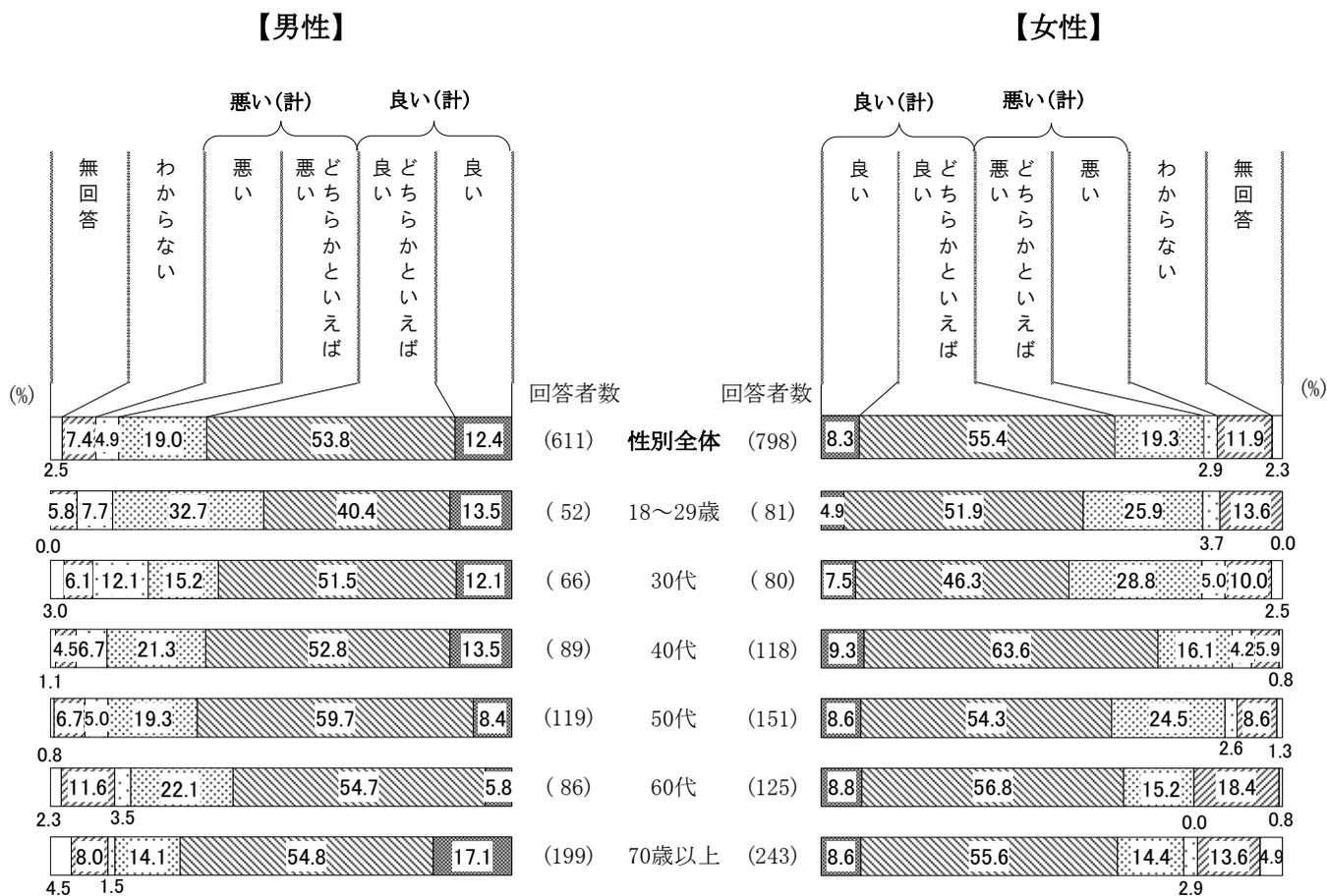


ウ クロス集計・性別、性・年代別／居住地の治安状況

(ア) 性別でみると、【良い】は男性（66.3%）の方が女性（63.7%）より2.6ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別でみると、【良い】は、女性の40代で72.9%と最も高く、次いで男性の70歳以上（71.9%）が7割台で続いている。逆に女性の30代と男性の18～29歳で53.8%と最も低くなっている。

図7-3-4 性別、性・年代別／居住地の治安状況



(4) 居住地域の治安が良いと感じる点

問28で「1 良い」または「2 どちらかといえば良い」とお答えの方に
問28-1 どのような点で治安が良いと感じますか（○は2つまで）。

■「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」が5割超

ア 単純集計・経年比較／居住地域の治安が良いと感じる点

(ア) 居住地域の治安を【良い】と評価した人の理由の上位は、以下のとおりとなっている。

- ①「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」(52.4%)
- ②「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」(32.6%)
- ③「安全・安心パトロールカー（青パト車）など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」(23.1%)
- ④「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」(20.5%)

(イ) 前回調査と比較すると、「安全・安心パトロールカー（青パト車）など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」が3.5ポイント増加し、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」を逆転し第3位となった。

図7-4-1-① 経年比較／居住地域の治安が良いと感じる点

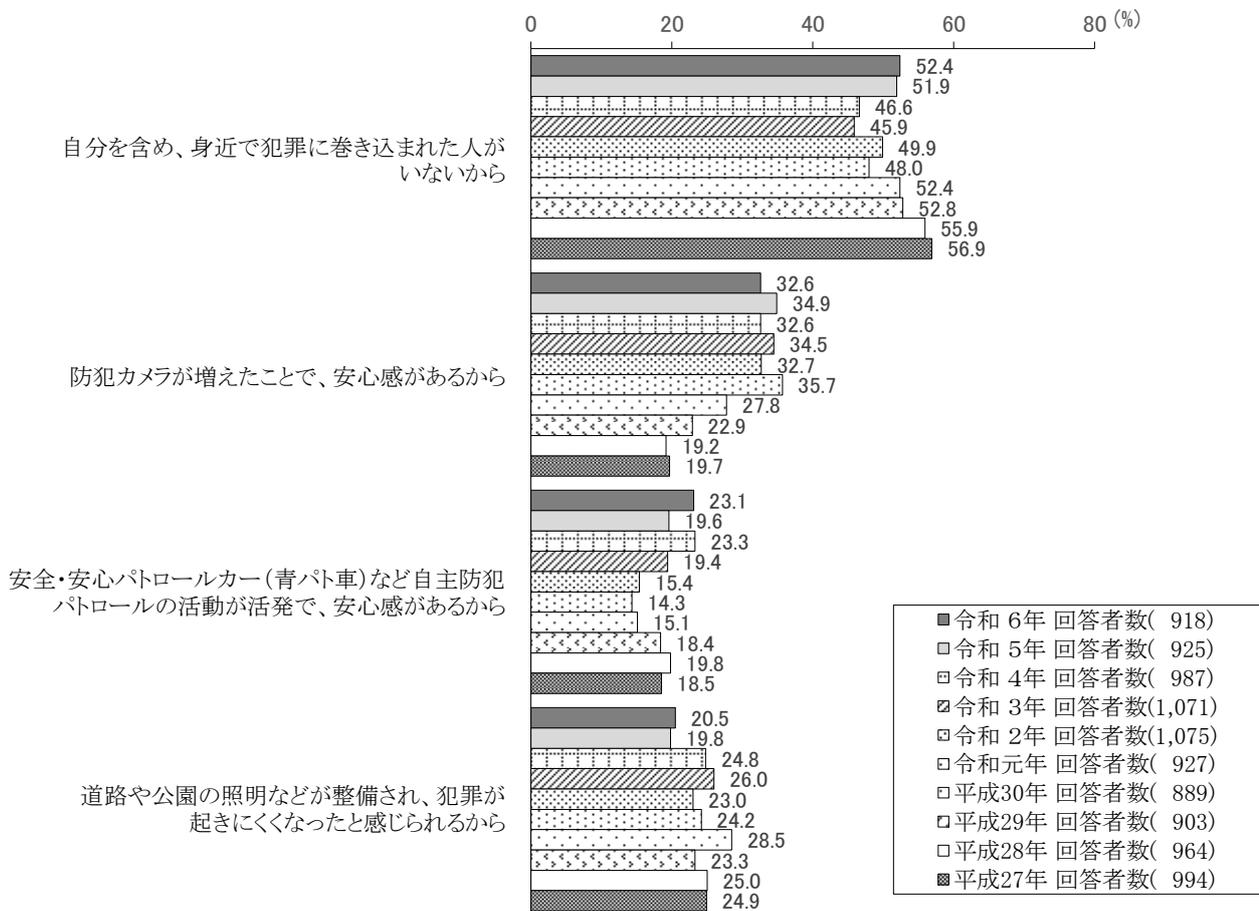
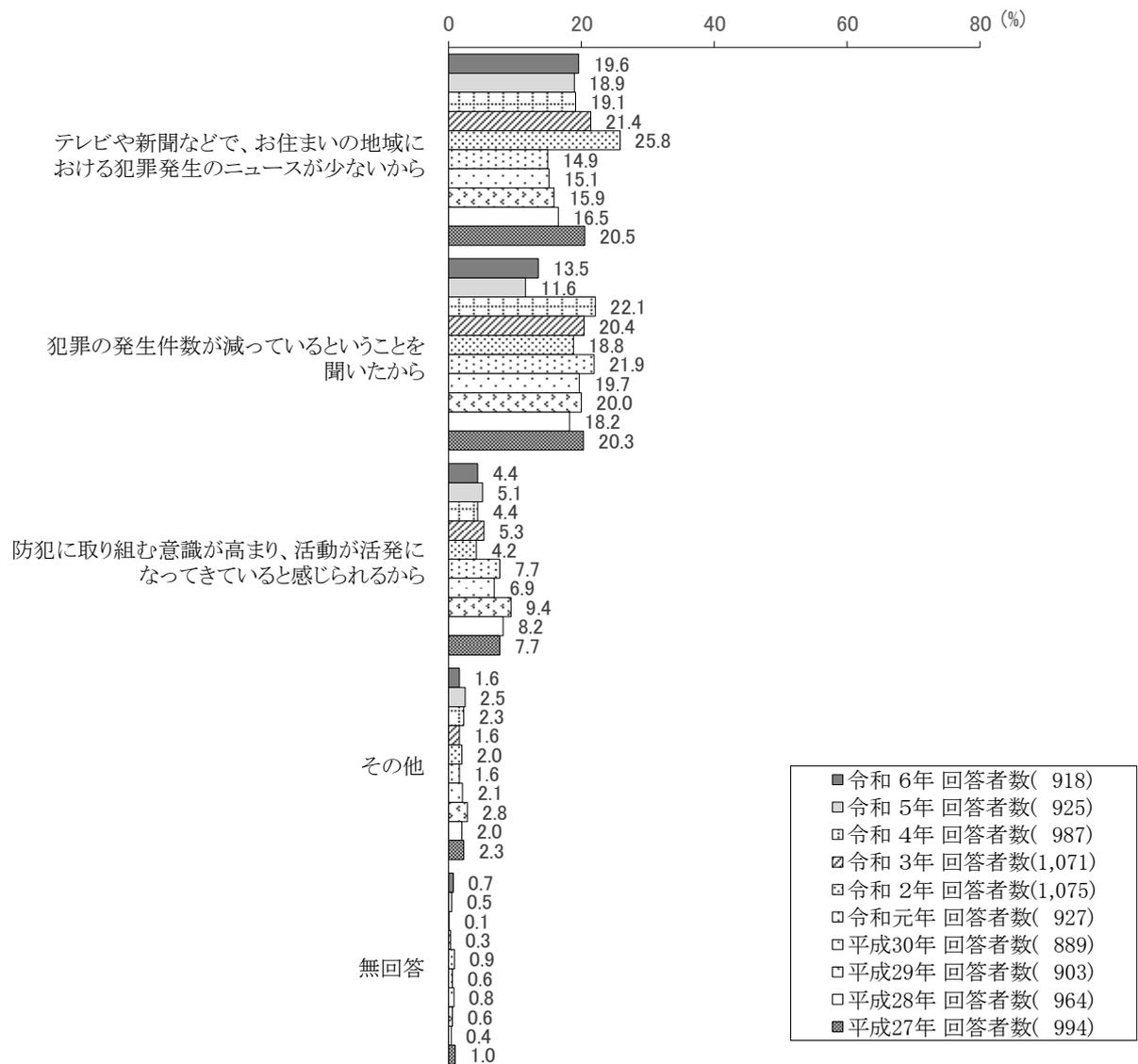


図7-4-1-② 経年比較／居住地域の治安が良いと感じる点



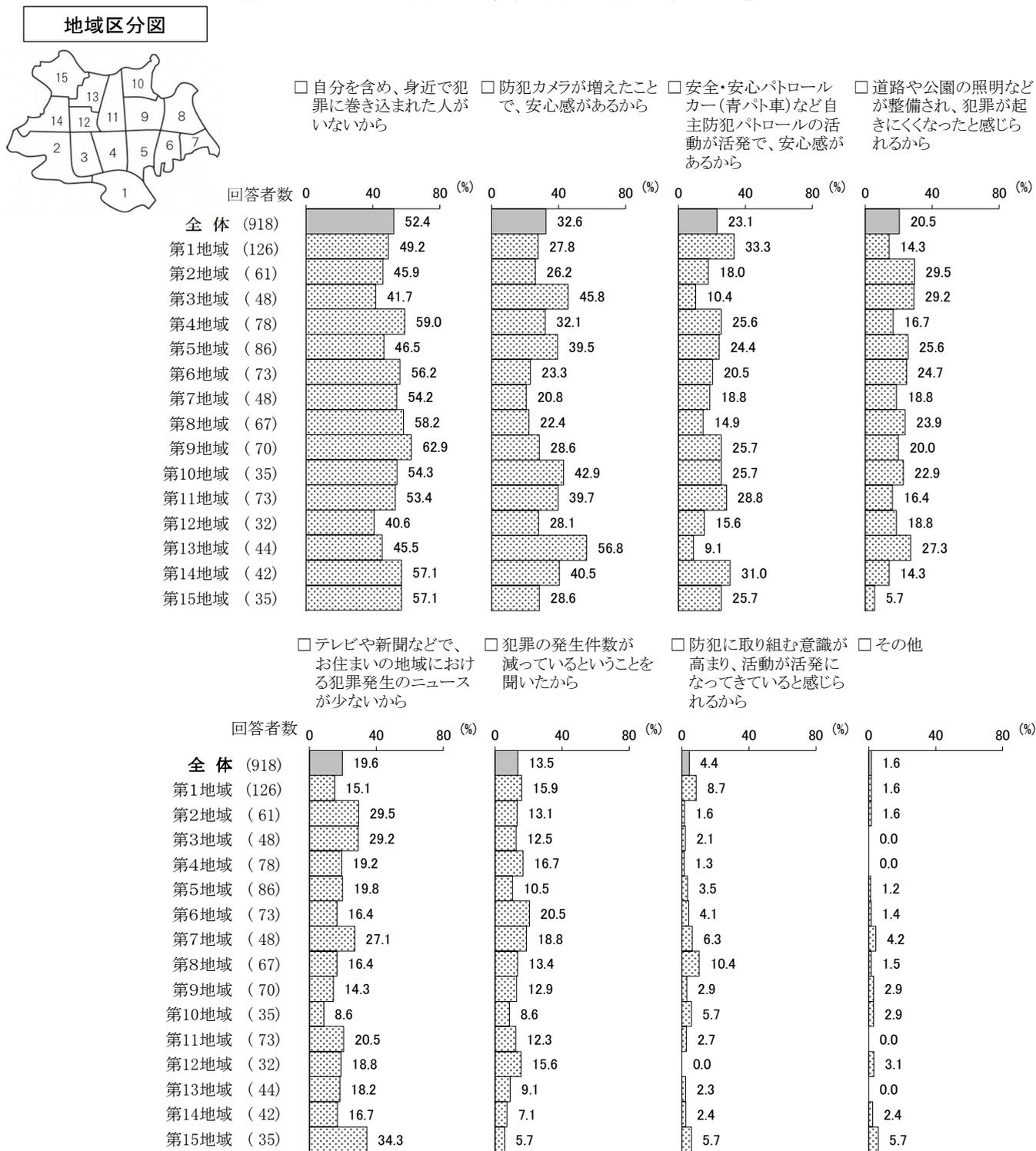
※ 「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」は、令和元年度までは「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」。

※ 「防犯に取り組む意識が高まり、活動が活発になってきていると感じられるから」は、令和元年度までは「防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」。

イ クロス集計・地域別／居住地域の治安が良いと感じる点

地域別でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は第9地域で62.9%と最も高く、第4地域が約6割で続いている。「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は第13地域（56.8%）が唯一5割で最も高く、「安全・安心パトロールカー（青パト車）など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」は第1地域（33.3%）で最も高くなっている。また、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」は第2地域（29.5%）と第3地域（29.2%）で約3割と高くなっている。

図7-4-2 地域別／居住地域の治安が良いと感じる点



(5) 居住地域の治安が悪いと感じる点

問28で「3 どちらかといえば悪い」または「4 悪い」とお答えの方に
問28-2 どのような点で治安が悪いと感じますか（○は2つまで）。

■「自転車の交通ルールを守らない人や放置自転車を見かけることが多いから」が約4割で1位、「歩きたばこやごみのポイ捨て等を見かけることが多いから」が3割台半ば近くで2位

ア 単純集計・経年比較／居住地域の治安が悪いと感じる点

(ア) 居住地域の治安が【悪い】と評価した人の理由の上位は以下のとおりとなっている。

- ①「自転車の交通ルールを守らない人や放置自転車を見かけることが多いから」(39.3%)
- ②「歩きたばこやごみのポイ捨て等を見かけることが多いから」(33.8%)
- ③「治安が悪いイメージがあるから」(31.1%) ※新設

(イ) 前回調査と比較すると、今回調査から新設された「治安が悪いイメージがあるから」が第3位となったことから、他の項目は軒並み割合が減少しており、居住地域の治安が【悪い】と評価した人の3割はイメージに依るものとしている。

図7-5-1-① 経年比較／居住地域の治安が悪いと感じる点

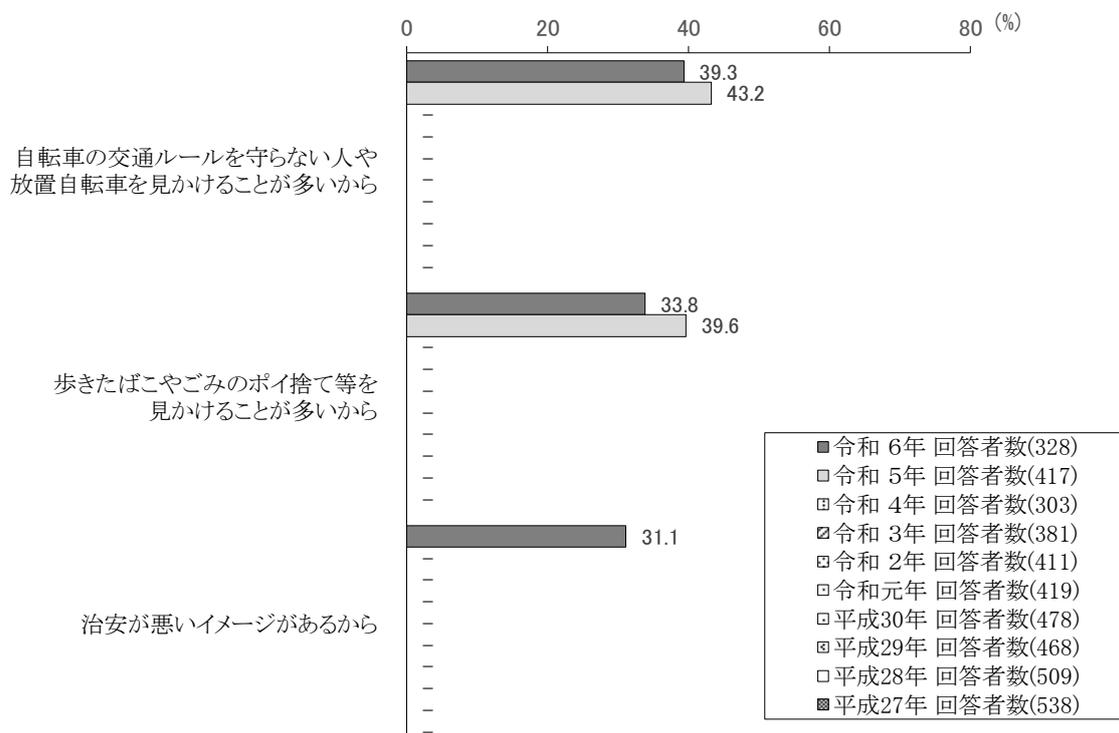


図7-5-1-② 経年比較／居住地域の治安が悪いと感じる点

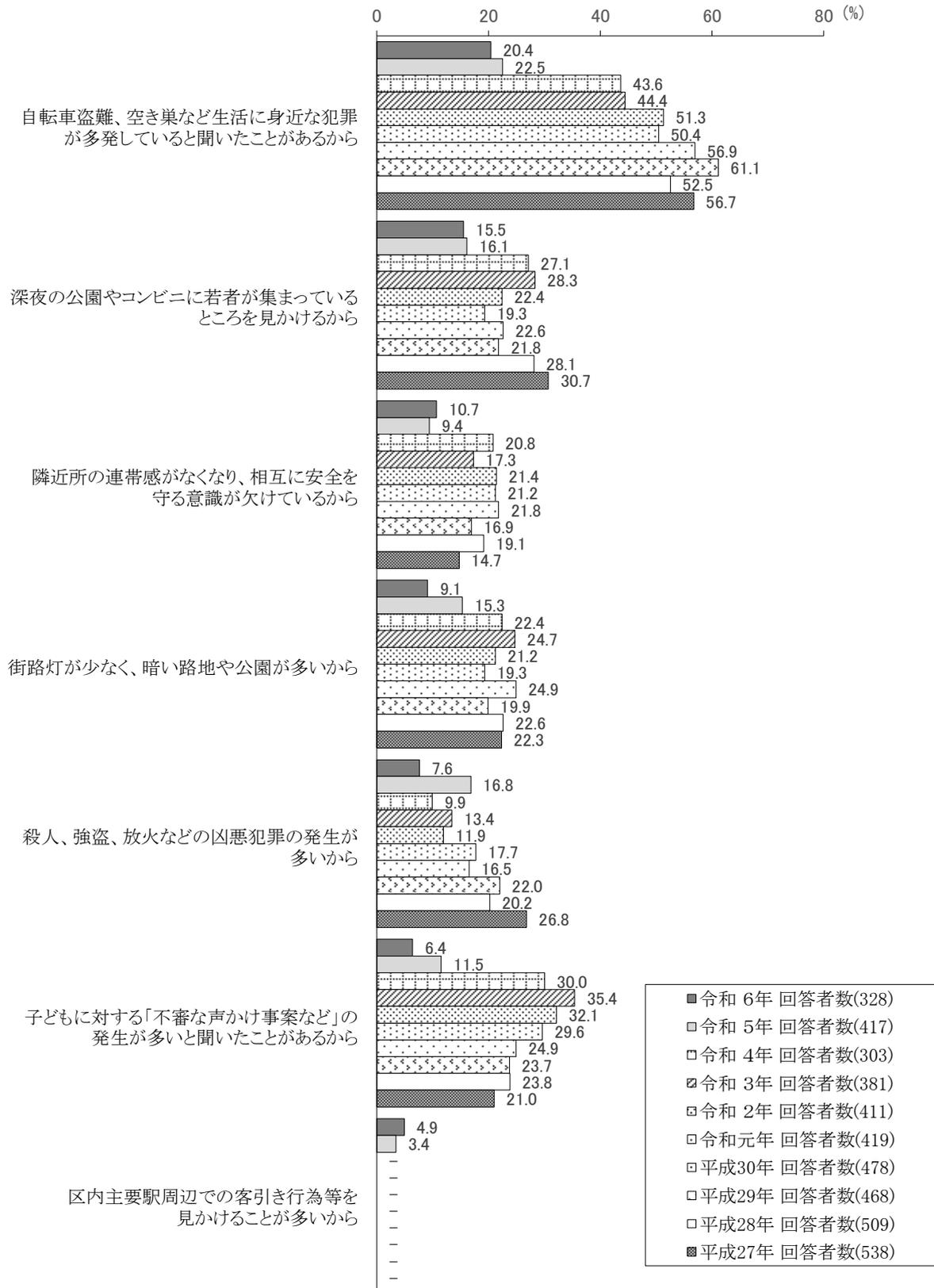
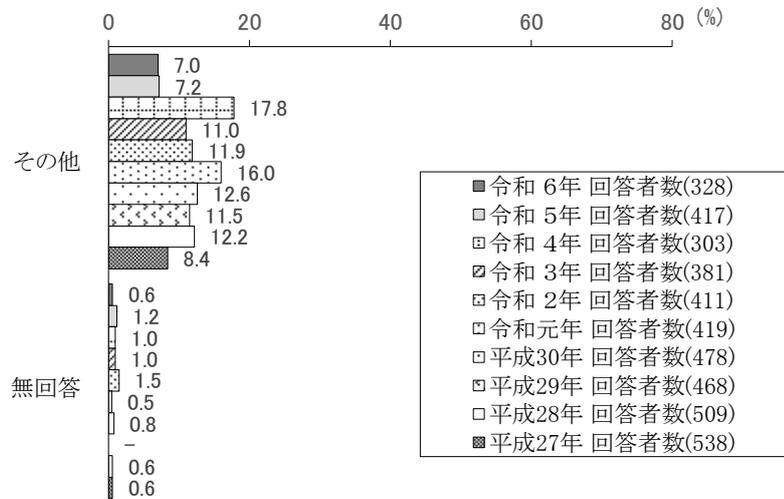


図7-5-1-③ 経年比較／居住地域の治安が悪いと感じる点

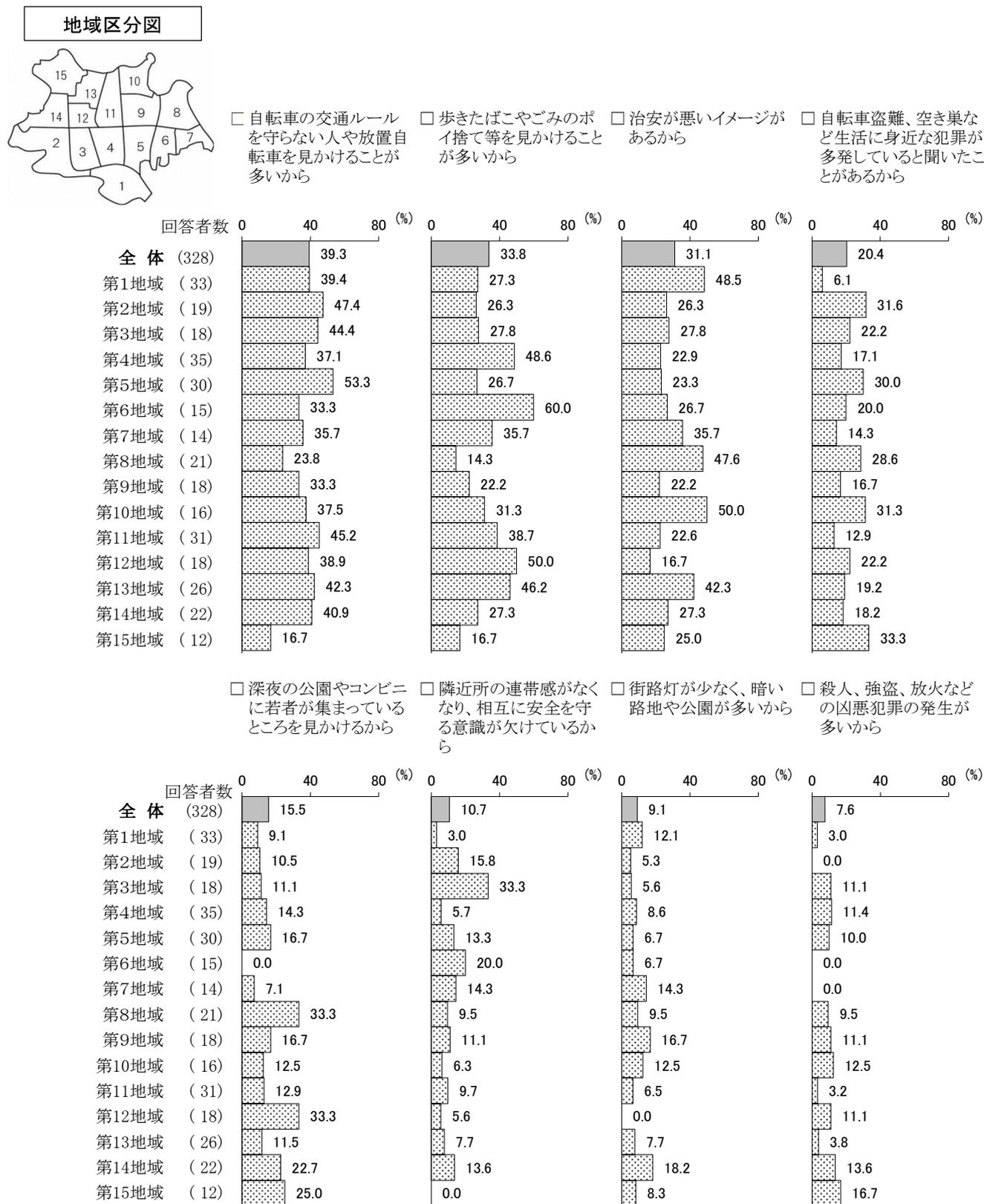


※「自転車の交通ルールを守らない人や放置自転車を見かけることが多いから」、「歩きたばこやごみのポイ捨て等を見かけることが多いから」、「区内主要駅周辺での客引き行為等を見かけることが多いから」は、令和5年度調査からの新設項目。
 ※「治安が悪いイメージがあるから」は、今回調査からの新設項目。

イ クロス集計・地域別／居住地域の治安が悪いと感じる点

地域別でみると、大半の地域で回答者数が少ないことから、参考値としてみる必要があるが、「自転車の交通ルールを守らない人や放置自転車を見かけることが多いから」は第5地域、「歩きたばこやごみのポイ捨て等を見かけることが多いから」は第6地域と第12地域、「治安が悪いイメージがあるから」は第10地域でそれぞれ5割以上と高くなっている。

図7-5-2 地域別／居住地域の治安が悪いと感じる点／上位8項目



ウ クロス集計・性別、性・年代別／居住地の治安が悪いと感じる点

(ア) 居住地の治安が悪いと感じる上位8項目について性別でみると、男女の差が3ポイント以上のものは4項目であった。

a 男性の方が女性よりも高い項目

(a) 「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発しているときいたことがあるから」(+5.8ポイント)

(b) 「治安が悪いイメージがあるから」(+3.0ポイント)

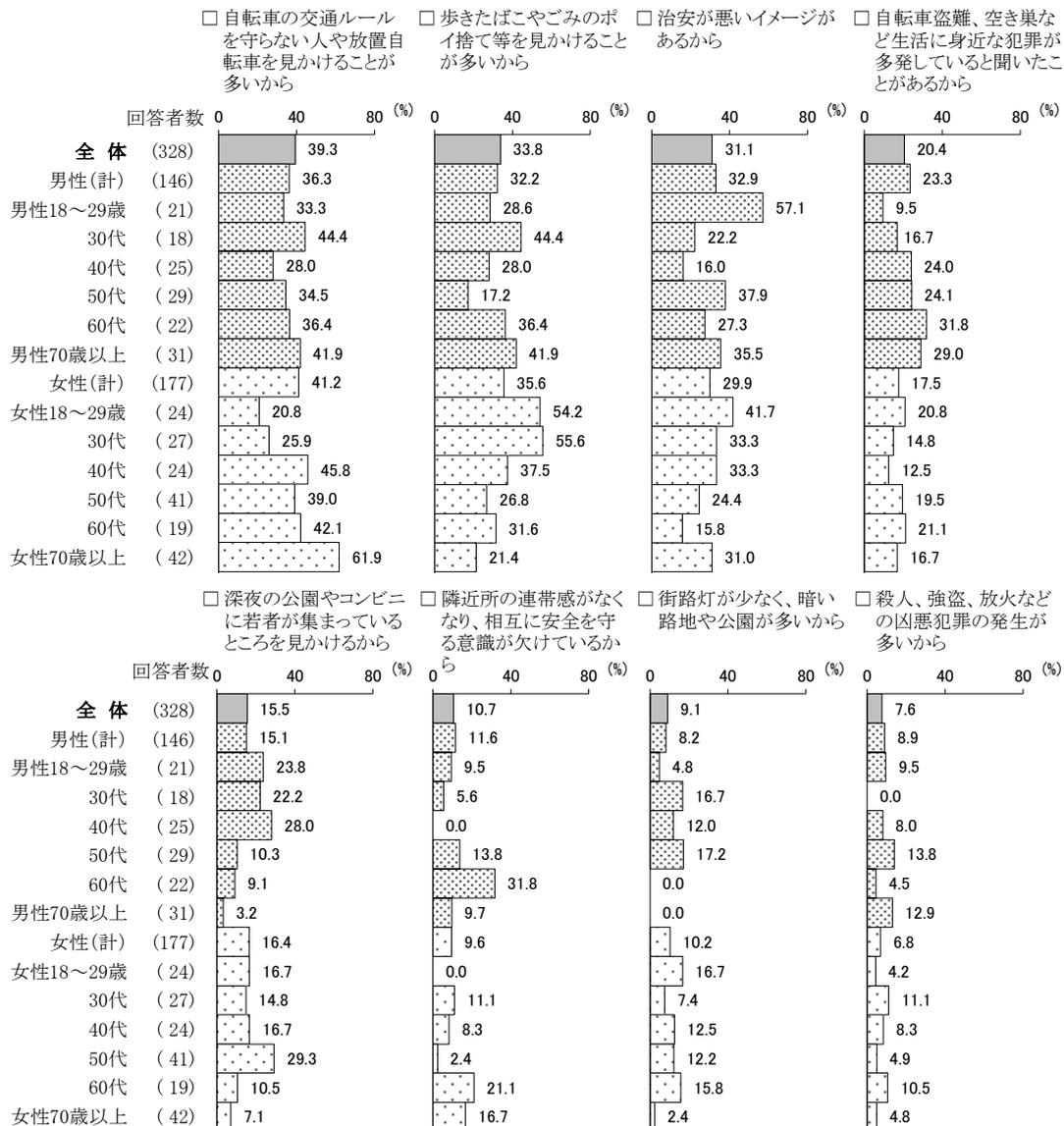
b 女性の方が男性よりも高い項目

(c) 「自転車の交通ルールを守らない人や放置自転車を見かけることが多いから」(+4.9ポイント)

(d) 「歩きたばこやごみのポイ捨て等を見かけることが多いから」(+3.4ポイント)

(イ) 性・年代別でみると、多くの性・年代層で回答者数が少ないことから参考値としてみる必要があるが、「自転車の交通ルールを守らない人や放置自転車を見かけることが多いから」は女性の70歳以上、「歩きたばこやごみのポイ捨て等を見かけることが多いから」は女性の18～29歳と30代、「治安が悪いイメージがあるから」は男性の18～29歳でそれぞれ5割以上と高くなっている。

図7-5-3 性別、性・年代別／居住地の治安が悪いと感じる点／上位8項目



(6) 駐輪時の鍵かけ状況

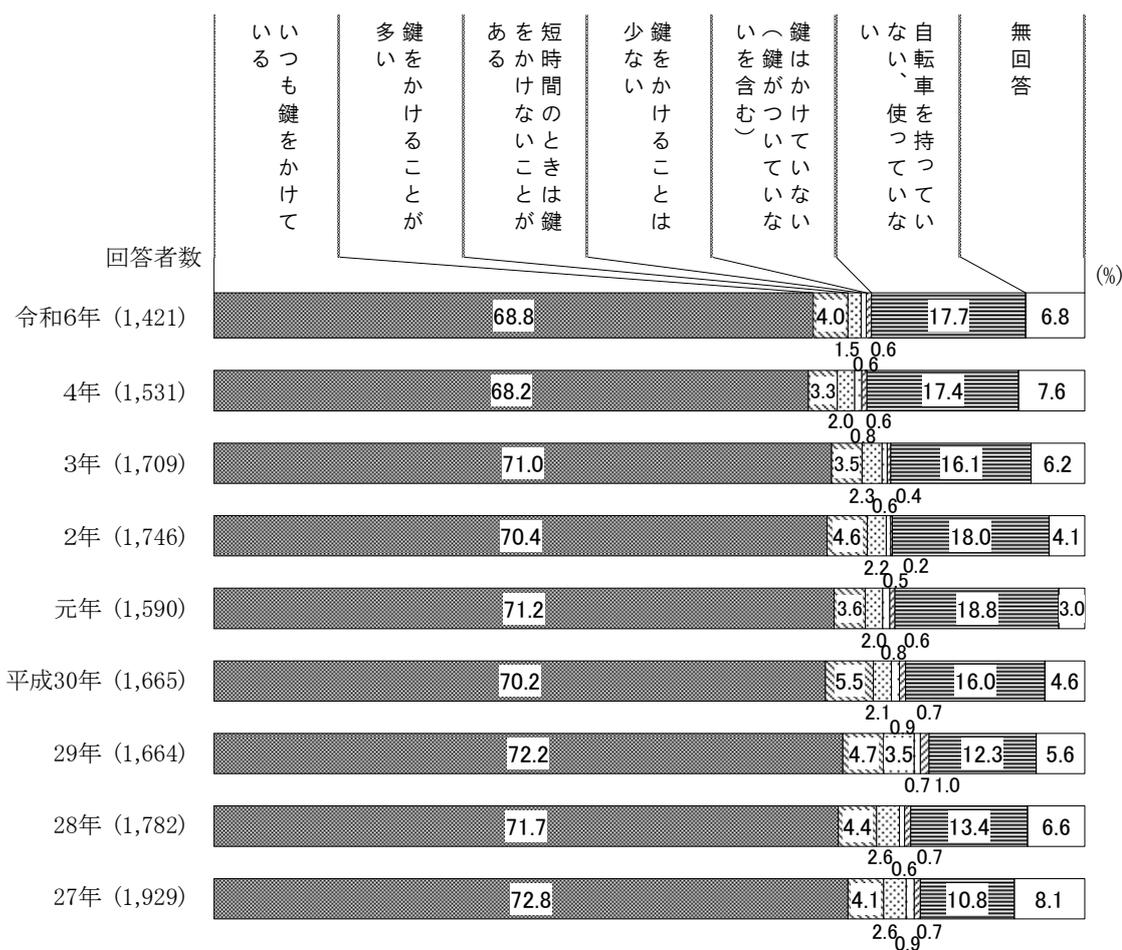
問29 あなたは、自転車を駐車するときには、自転車に鍵をかけていますか
(○はそれぞれ1つずつ)。

■ 「いつも鍵をかけている」は、外出先が7割弱、敷地内が約6割

ア 単純集計・経年比較／駐輪時の鍵かけ状況（外出先）

- (ア) 外出先で自転車を駐輪するときの鍵かけ状況は、「いつも鍵をかけている」が68.8%で、「鍵をかけることが多い」(4.0%)を合わせた【鍵をかける】は72.8%となっている。
- (イ) 外出先で自転車を駐輪するとき、「鍵はかけていない(鍵がついていないを含む)」(0.6%)と「鍵をかけることは少ない」(0.6%)を合わせた【鍵をかけない】は1.2%となっている。
- (ウ) 前回調査(令和4年度)との比較では、特に大きな違いは見られない。

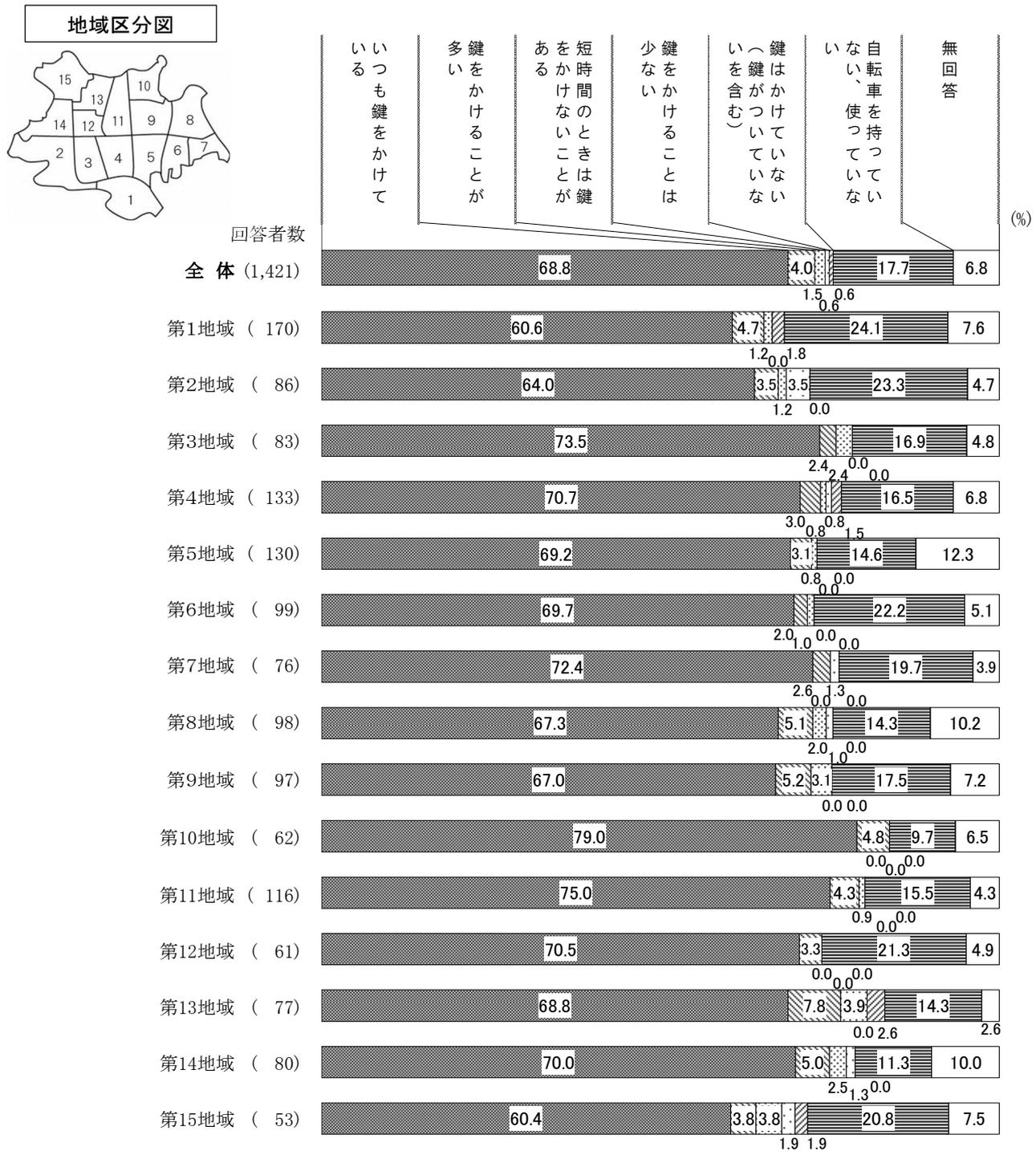
図7-6-1-① 経年比較／駐輪時の鍵かけ状況（外出先）



ウ クロス集計・地域別／駐輪時の鍵かけ状況（外出先）

外出先で自転車を駐輪するときの鍵かけ状況を地域別にみると、「いつも鍵をかけている」は、第10地域で79.0%と最も高く、次いで、第11地域（75.0%）となっている。逆に、第15地域で60.4%と最も低くなっている。

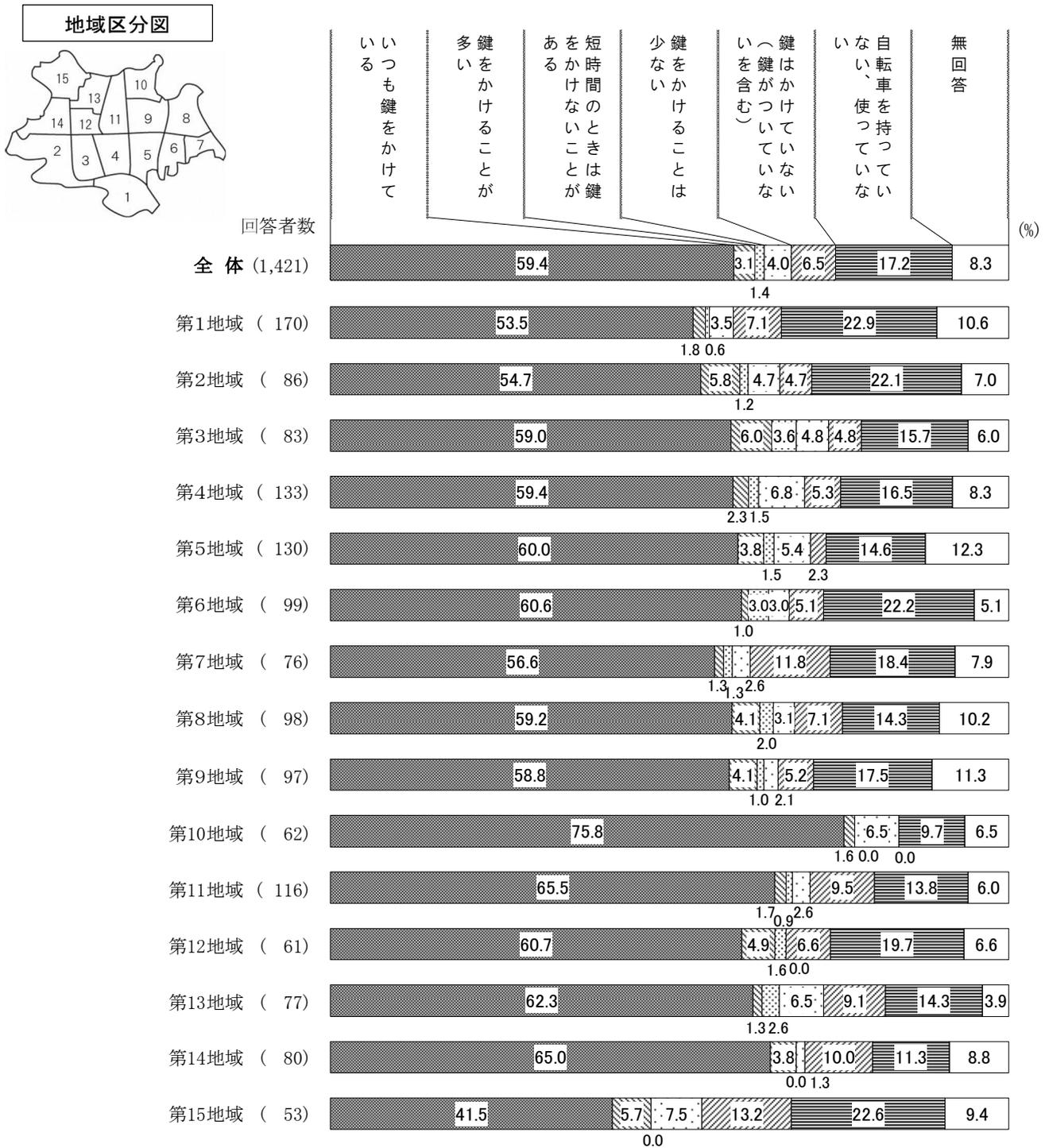
図7-6-2-① 地域別／駐輪時の鍵かけ状況（外出先）



エ クロス集計・地域別／駐輪時の鍵かけ状況（敷地内）

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐輪するときの鍵かけ状況を地域別にみると、「いつも鍵をかけている」は、第10地域で75.8%と最も高く、次いで、第11地域（65.5%）となっている。逆に、第15地域で41.5%と最も低くなっている。

図7-6-2-② 地域別／駐輪時の鍵かけ状況（敷地内）



オ クロス集計・性別・年代別／駐輪時の鍵かけ状況（外出先）

(ア) 外出先で自転車を駐輪するときの鍵かけ状況を性別で見ると、【鍵をかける】は、男性（74.8%）の方が女性（71.7%）より3.1ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、「いつも鍵をかけている」は、女性の50代で83.4%と最も高く、女性の70歳以上で51.0%と最も低くなっている。

図7-6-3-① 性別、性・年代別／駐輪時の鍵かけ状況（外出先）

